

いしかり寄り添い支援型プラス事業【北海道石狩市】

| | |
|-------|--------|
| 個別事業費 | 323 千円 |
| 交付金額 | 161 千円 |

地域の実情と課題

- ・市内事業所を対象とした令和5年度雇用・労働基本調査によると、正社員に占める女性の割合は25.8%、非正規従業員に占める割合は69.9%。産業別では保険・金融業やサービス業等が多く、年齢では30～50代の従業員が多い。また役職付き職員に占める女性の割合は16.4%。
- ・非正規雇用が多いこと、30代～50代で子育てや介護等を担う年代の就労者が多いこと、管理職に占める割合が低いことから、女性が職場において意思決定過程に関与しづらく、主体的にワークライフバランスを取ることが困難な状況があると言える。また非正規雇用が多いことから、社会情勢によって雇用が不安定になりやすく、賃金が少なく生活が苦しいなど経済的な問題も抱えやすい。

事業の特徴

- 令和7年4月から令和8年3月までの毎週火曜日、市役所にて面談・電話による女性相談窓口を開設し、北海道家庭生活カウンセラークラブ石狩地区に委託し主に女性の悩みについて相談を受け、相談の一環として女性用品を提供。また、相談員の資質向上及び裾野拡大のため研修会を開催。
- 公益社団法人北海道家庭生活総合カウンセリングセンターに委託し、1級カウンセラー養成講座等を実施、女性相談員の担い手を育成した。

事業の効果

【事業効果】毎週火曜日が女性相談日となることで相談日時と場所が固定されて覚えやすくなり、困難を抱えている女性の支援につなげることができる。また家庭生活カウンセラー1級有資格者の相談員が増えることで、将来に向けて女性相談を継続して安定的に実施することができるとともに、相談者により良い相談を提供できる。

【効果検証の概要】安定して相談する機会を設けることができ、困難を抱えている女性の支援につなげることができた。また「生理の貧困」にも対応することができた。

目的・目標

【目的】女性相談の担い手である相談員の育成や資質向上を図ることにより、女性相談の機会を増やすだけでなく、継続的な相談業務を目指すとともに、相談窓口の認知度向上のため周知を行う。相談支援の一環として、女性用品の提供を行う。

【目標】

- ①相談件数 目標値7名 実績値5名
- ②女性相談の実施会場と相談日を増やす 目標値計51回 実績値51回
相談日を確保し困難を抱える女性が安定して相談できる環境を整える。

連携団体

北海道家庭生活カウンセラークラブ石狩地区(任意団体)
公益社団法人北海道家庭生活総合カウンセリングセンター

今後の課題

より質の高いカウンセリングを提供するため、継続的なスキルアップが求められるため、定期的な学習機会を設ける必要がある。また困難を抱えた女性が、より相談しやすく気軽に足を運ぶことができるよう、相談日を広く浸透させる必要がある。

事業の概要

●女性相談事業と相談に付随した生理用品の提供

○女性相談の実施

- (1)開催日時 令和7年4月から令和8年3月までの火曜日 10時から15時まで
- (2)開催場所 市役所1階女性相談室
- (3)相談件数 5名(交付金事業分)・女性用品提供 全132件
- (4)相談員 北海道家庭生活カウンセラークラブ石狩地区
- (5)開催内容 家庭生活や地域・社会生活におけるさまざまな心の悩みや、ドメスティック・バイオレンスなどといった女性に多い悩みについて、お話を傾聴し、ともに考え、また専門的な機関を紹介するなどにより、解決へ向けての手助けを行った。その際に必要とする方に女性用品を提供した。

●相談員育成事業(研修会・ケース研究会開催)

○地域女性活躍推進交付金(寄り添い支援型プラス)研修会 「いろいろ家族～仲よく楽しく暮らすヒント～」

- (1)開催日時・場所 令和7年10月17日(金) 13:30-15:30 花川北コミュニティセンター1階ホール
- (2)参加人数 17名
- (3)講師
・さっぽろレインボープライド実行委員会
セクシャルマイノリティ女性向けコミュニティ「FIL」主宰 千葉 瞳 氏
一般社団法人ユアセル代表理事 高橋智美氏
・札幌人権擁護委員会石狩部会 伊藤美由紀氏
- (4)開催内容 性的マイノリティ当事者の視点から語られる話や、身近に存在するDVについての話を聞き、多様な性やDVへの認識を確認し考える契機とした

○ケース研究会

- (1)開催日時・場所 令和7年11月6日(木) 10:00-12:00 総合保健福祉センターりんくる 303会議室
- (2)参加人数 18名
- (3)講師 小出英子 氏
- (4)開催内容 実際に相談を受けた複雑なケースを取り上げ、その対応等について話し合った

●女性相談員担い手育成研修講座(1級養成)

○1級カウンセラー養成講座及び認定試験

- (1)研修期間 令和7年4月から令和8年3月
- (2)研修場所 (公社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンター
- (3)受講人数 3名
- (4)講師 (公社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンター 理事長 吉野淳一 氏ほか
- (5)研修内容 カウンセリングについて段階的に学んだ